

障害者巡回相談会

障害のある人が地域で自立した生活を送り、居住地に関係なく相談支援がいきわたるよう、専門の相談員による巡回相談を行います。

【因島・瀬戸田地区】

毎月第3水曜 10:00~12:00(予約不要)、13:00~15:00(要予約)

瀬戸田福祉保健センター

障害者サポートセンターはなはな (因島瀬戸田センター内)

☎0845-23-7020

☎0845-23-7030

hana-inse@wakaba-innoshima.com

【浦崎地区】

6月19日(水)、10月16日(水)、令和7年1月15日(水) 13:00~15:00

浦崎公民館

障害者サポートセンターはなはな

☎0848-29-5002

☎0848-29-5003

hana-hana@mx32.tiki.ne.jp

HIV検査は匿名・無料で受けられます

2022年に日本で新たに報告されたHIV感染者632人とエイズ患者252人は、合わせて884人です。

■HIVの感染経路

エイズは感染に気付かず放置すると重篤な状態を引き起こします。無症状でも感染力を持つため、自分でも気づかないまま、ほかの人に感染させる可能性があります。主な感染経路は、「性的感染」「血液感染」「母子感染」です。

■早期発見・早期治療が重要

エイズの発症によりHIVに感染したことがわかる人が、HIV感染者の3割を占めています。エイズ発症前の無症候期に感染を発見し、早期に治療することが重要です。

■匿名・無料で検査できます

広島県東部保健所では無料で検査を実施しています。検査については事前に連絡し予約してください。

東部保健所保健課

☎0848-25-4640

在宅介護用品の購入を支援 8月分からの助成券の申請受付開始

対象者は申請をしてください。

次のすべてを満たす人

①在宅で介護用品を必要とする人

②介護保険法の要介護3以上の認定を受けている人

※ただし、要介護3の新規申請者は要介護認定における認定調査票の「排尿」か「排便」の項目において「介助」か「見守り等」に該当すること。

③要介護者本人の属する世帯が市民税非課税世帯の人

助成額(1カ月当たり)

要介護3 1,250円券を3枚

要介護4・5 1,250円券を5枚

7月1日(月)~

※既に交付を受けている人も8月分からの申請が必要です。

※申請にはケアマネジャーの証明が必要ですので、ケアマネジャーに相談してください。

高齢者福祉課(☎0848-38-9137)

因島福祉課(☎0845-26-6210)

御調保健福祉センター(☎0848-76-2235)

向島支所しまおこし課(☎0848-44-0111)

瀬戸田支所住民福祉課(☎0845-27-2209)

市民公開講座「大切ないのちについて考える」 性感染症の今を知ろう ~女性診療科からみたHIV、梅毒、HPV~

7月7日(日)

12:00~15:30 HIV(エイズ)・梅毒検査無料匿名検査受付

14:00~15:30 講演会

しまなみ交流館

講師 阪埜浩司さん(広島大学病院周産母子センター准教授)

尾道市医師会性感染症・エイズ対策プロジェクト委員会(☎0848-25-3151)



6~9月は「広島県夏の食中毒予防期間」

高温多湿となる夏は、細菌性の食中毒が最も発生しやすい時期です。食中毒予防3原則に気を付けて予防しましょう。

■食中毒予防3原則

食中毒菌を「つけない」「ふやさない」「やっつける」

■家庭でできる予防策

- 調理前は手洗いを徹底する
- 生の肉や魚を扱った器具類はすぐに洗浄・消毒する
- 食材は適正な温度で保管する
- 調理後は速やかに食べる
- 肉は十分に加熱する

健康推進課(☎0848-24-1961)

まめまめ通信130 おのみち健幸チャレンジ+10(プラステン)でフレイル予防

健康推進課(☎0848-24-1962・☎0848-24-1966)

プラス10分てくてく運動をリニューアルし、賞品やチャレンジ内容が変わりました。プラス10分ウォーキング、下肢の筋トレ、タンパク質を含む朝食、体重測定でポイントを貯めて、健康な身体と抽選で素敵な賞品も獲得できる「おのみち健幸チャレンジ+10(プラステン)」に参加してみませんか?



■チャレンジ期間:期間中~11月30日(土)

■締 7月31日(水)

■対象 市民か市内に通学・通勤する人(18歳以上)

1. 申し込む

総合福祉センター・各支所などにある申込書を持参か郵送、もしくは電子申請・電話・FAXで

2. 健幸チャレンジ・記録する

ポイントを「健幸チャレンジノート(申込時にお渡し)」に記録する。

電子申請はこちら▶



3. 提出する

期間中1,000ポイント以上貯めてノート巻末の用紙を提出する。

4. 抽選で総勢150人に豪華賞品が当たる!

抽選会(見学自由)

12月23日(月)

- ・3,000ポイント以上→JCBギフトカード1万円分(20人)
- ・2,000ポイント以上→和牛ステーキ肉2枚セット(50人)
- ・1,000ポイント以上→尾道特選食材詰め合わせ(80人)



マダニが媒介する感染症に注意しましょう

健康推進課(☎0848-24-1961)

ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、咬まれた人が「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」などの病気を発症することがあります。

マダニは春から秋にかけて活動が盛んになります。農作業や墓参り、レジャーなどで森林や草むらに入るときには咬まれないよう対策をしましょう。

■マダニ等から身を守る服装をする。
(肌の露出を少なくする)

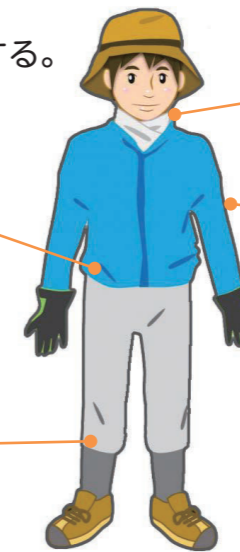
・シャツの裾はズボンの中に入れる

・首にはタオルを巻くかハイネックのシャツを着用する。

・長袖、長ズボン、帽子を着用する

・ズボンのすそは靴下や長靴に入れる

・シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れる



■帰宅後はマダニ等に咬まれていないか確認し、入浴やシャワーで洗い流す。

■マダニ等に咬まれた時は、無理に引き抜こうとせず医療機関で処置してもらう。

■マダニ等に咬まれた後、2週間程度は体調の変化に注意し、発熱などの症状があればすぐに受診する。

※肌の露出を少なくする服装で、より熱中症にかかりやすくなりますので普段以上に水分補給とこまめな休息を心がけましょう。